

●保育の実態

□25・26日共に空はかすんでいたが、特に市から緊急メールもなかったので園児を園庭で遊ばせた。

【市役所への苦情メール報告より】

2月26日（水曜日）出雲市子育て支援課より

さとがた保育園へ子どもを通わせている保護者です。大気汚染が騒がれているので、保育士さんに保育にあたる時十分注意をして欲しいと思うが、黄砂やPM2.5がすごい日も外で遊ばせている。25日は大気汚染がひどかったのに外で遊んでいた。なかなか保育園に対応してもらえない。今週末、対応策の返事がもらえないならば、別の手段で訴える。

（上記は電話内容抜粋）

□市役所より

- ・苦情があった保護者へ対し、出雲市として何らかの返事を送るが、保育園の苦情解決策を検討して教えて欲しい。

例えば、園だよりで保護者全体へ園の方針を伝える

特定の保護者に対して、回答をする など

- ・その他

大気汚染に関することとして

県のホームページでPM2.5の数値は確認できる

平均基準値は70としている

平均基準値を超えた場合は、各保育園に緊急メールを送ることにしている

平成26年2月28日

さとがた保育園  
保護者の皆さまへ

さとがた保育園  
園長板木正久

微小粒子状物質（PM2.5）への対策について

標記の事について、先般保護者の方からご意見をいただきました。内部で検討し直し、より良い環境作りをしたいと考えていきたいと思っております。

1. 毎朝8時50分頃に大気の状態を把握しておりますが、外に出る前に再度確認いたしまして外遊びをいたします。
2. 登園時には、手洗いうがいをするよう努めていきたいと思っております。
3. 外遊びの後手洗い、うがいを実施するよう努めていきたいと思っております。

近年、pm2.5が0μgになることはないのではどこまでが安全とはいえませんので、それ用のマスクをご用意されますことをお願いいたします。

また何時間もの間、室内で過ごす子どもたちはそれなりにストレスが溜まり、友達とのトラブル、ケガなど予想されます。私ども万全を期しているもののそうしたアクシデントがありうることもご承知いただきたく存じます。

園外保育中に大気の変化により悪化した場合、ただちに園に戻る事ができる場合と施設内に留まることが良い場合が予想されますので、状況に応じて判断させていただきます。

なお、私ども「今日はこちらへpm2.5よ来ないで！」と西空に向かってさけぶことはいうまでもありません。

